



青梅梨の木保育園だより

(河辺町6丁目回覧・パートナー登録家庭への送付・ホームページ掲載)

第56号(25年度10号)平成26年1月8日 青梅梨の木保育園
青梅市河辺町6丁目12-3 電話24-7481 園長 宮川 美子

平成26年の新春を迎え、謹んでお祝い申し上げます。皆様にとって今年1年無病息災で幸多い年になりますようお祈りいたします。今年も河辺町の皆様、そしてパートナー登録のご家庭と保育園が、仲良く手を取り合っていけますよう、どうかよろしく願いいたします。新年になって子どもたちにお正月の話を知ると、「カルタ取り」「すごろく」「凧揚げ」「コマ回し」と昔ながらのお正月遊びをした子がたくさんいました。お年玉をもらったのも嬉しそうに教えてくれました。まだまだ日本のお正月は健在です。

明日はお餅つきです。今年は3臼つきます。蒸かしたもち米のいい香り、リズムカルな餅つきの音と掛け声、つきたてお餅に黄粉やしょうゆをつけて食べる美味しさ、子どもたちも保育園で働く私たちもうれしい行事です。

保育園に遊びに来てください

身長体重測定 1月15日(水) 10:00 (できるだけ10時にお越しください)



- ・測定後は保育園のおもちゃやお庭で遊べます。
- ・絵本の貸し出しもしています。貸し出し期間は1週間で、2冊ずつです。

節分の集い 2月3日(月) 10:00~10:45

赤鬼青鬼を相手に豆まきをします。鬼をやっつけると、福娘が登場しお菓子をくれます。泣いたり、笑ったりしながら日本の文化にふれます。

※参加希望の方は、1月28日(火)までにお申し込み下さい。



コミュニケーション力とEQ力を育てましょう

赤ちゃんが喃語で「オククン」と話しかけてきたら、大人も真似て「オククン」と返してあげましょう。赤ちゃんはとっても嬉しくなります。自分が言ったことが受け入れられる安心感、繰り返される音の心地良さを感じます。赤ちゃんが指差したら、真似て同じように指差してあげましょう。またまた赤ちゃんは嬉しくなります。そして赤ちゃんのコミュニケーション能力が育ちます。この「まねっこ作戦」は大人にも通用します。相手がしゃべった言葉を繰り返してあげると相手は気持ち良くなります。「たまには映画に行きたいね。」動きも真似ながら「ほんと！たまには行きたいね。」これではたっぷりです。

今、社会では人とかかわる力、コミュニケーション能力を必要とする職業が年々増加しています。昔はIQという知能指数が高く、知識の量が多い人が求められましたが、これからはEQ「こころの知能」が評価されます。「こころの知能」とは自分自身を動機づけて、挫折してもしぶとく頑張れる能力のことだそうです。EQ力は大人になっても伸びていくそうですが、生後間もない時期に身につけたものが基礎になっているので、乳幼児期が一番大切だそうです。コミュニケーション力やEQ力はさまざまな人と出会い、人々の中で学んでいくものです。今は核家族でお母さん一人での子育てが多く、EQ力が育ちづらくなっています。そこで、ご近所に赤ちゃん、子どもがいたら「かわいいですね。」と声を掛けてみましょう。お母さんも声をかけてもらったらニッコリ笑顔で話してみましょ。お子さんは見て聞いていますよ。そしてお子さんのEQ力があがるとともに、子どもが人と人をつなげてくれます。